

《担当者名》守田 玲菜 morita.r@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

病理学 と共に病気への理解を深め、看護学の基礎を支える科目の1つである。  
循環器系、呼吸器系、消化器系、神経系など各分野別の疾患に関する講義を中心にすすめる。

【学修目標】

病理学 の講義内容を基礎として、循環器系、呼吸器系、消化器系、神経系など各分野別の疾患について学び、病気の成り立ちとそれによる身体の変化を説明できることを目標とする。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	循環器の病理 1	心不全とは / 先天性心疾患	守田
2	循環器の病理 2	後天性心疾患	守田
3	循環器の病理 3	高血圧症、血管疾患	守田
4	呼吸器の病理 1	呼吸の生理、上気道の疾患、閉塞性肺疾患	守田
5	呼吸器の病理 2	その他の肺疾患、呼吸不全	守田
6	消化器の病理 1	口腔・唾液腺 / 食道 / 胃の疾患	守田
7	消化器の病理 2	大腸の疾患・肝臓の働きと肝疾患	守田
8	消化器の病理 3	肝疾患、胆 / 膵の働きと疾患	守田
9	腎・泌尿器系の病理 1	腎臓の生理と下部尿路疾患	守田
10	腎・泌尿器系の病理 2	腎疾患	守田
11	血液疾患	造血器の働きと血液疾患	守田
12	内分泌系の病理	下垂体 / 甲状腺 / 上皮小体 / 副腎の疾患	守田
13	代謝系の疾患	糖尿病などの代謝疾患	守田
14	神経系の病理 1	脳神経系の生理	守田
15	神経系の病理 2	脳血管疾患、中枢神経系の変性疾患	守田

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

定期試験 90%、授業参加状況（出席カードの設問に対する回答内容）10%

【参考書】

新体系看護学全書 疾病の成り立ちと回復の促進： 病理学（深山 正久 編）2版（メヂカルフレンド社）  
「病気がみえる」シリーズ（メディックメディア）

【学修の準備】

毎回、復習問題（小テスト）を出します。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2

【実務経験】

医師

【実務経験を活かした教育内容】

病院での医師としての経験から実践的教育を行う